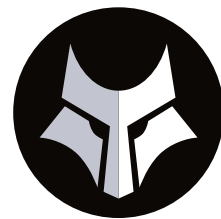


# 迫りくる最新の脅威を防御する仕組みを HP Wolf Pro Security Serviceで構築



HP WOLF SECURITY

## 株式会社 IT コミュニケーションズ

### 目的 (導入までの課題)

- ・新世代の脅威に対抗可能なセキュリティシステムの構築
- ・管理・運用負荷低減

### アプローチ

- ・次世代アンチウイルスと隔離実行による多段階防御の実現
- ・マネージドサービスによる運用負荷低減

### システムの効果

- ・NW負荷低減
- ・オンプレ管理サーバ不要

### ビジネスへの効果

- ・事業継続性の担保
- ・顧客情報の保護

標的型攻撃が遠い国の話ではなく、現実身近に起こりえる状況になっている現在、あらゆる企業にとって対策が急がれている。一方でそうと知りつつも実際にどのように対処すればよいか悩む時間が長くなってしまっているケースも多い。株式会社 IT コミュニケーションズはそんな中、新たな一歩を踏み出すことを決断。HP Wolf Pro Security Service および HP Proactive Insight によって、標的型攻撃に強い最新のセキュリティシステムを構築したという。同社に直接話を伺ってきたので紹介しよう。

## IT Communications

### 身近に起こりえる 標的型攻撃への備え

株式会社 IT コミュニケーションズ (以下「ITC」) は、総合広告代理店としてこれまで数多くの企業活動を支えてきた企業だ。SEMをはじめとしたインターネット広告やソリューション業務、Web サイトの構築・分析、システム設計・開発・運用、各種プロモーションなど、豊富なノウハウで幅広いサービスが提供できる強みを持っている。

同社は業種的にもクライアント企業の機密情報や個人情報を扱うことが多いため、セキュリティは積極的に強化してきた背景がある。「ですが、昨今の標的型攻撃は日々進化しており、従来のウイルス対策だけでは不十分だと認識していました」と語るのは、同社のシステム管理を担当するシニアテクニカルディレクターの五十嵐氏。しかし、多くの企業がそうであるように、ITC でも最新の脅威への対策が必要なが分かってつつも、これまでなかなか検討をするタイミングがなかったのだという。

「そんな中、2021年2月に社員から怪しいメールを受信したという報告がありました。調査の結果、最近猛威を振るっている Emotet による標的型攻撃だと判明しました。対象にされた社員のセキュリティリテラシーが高かったことと、早期発見ができたことで事なきを得ましたが、次世代の脅威が現実のものとなっていることがよくわかる事件でした」と振り返る五十嵐氏。同社では、もしも Emotet などが含まれるメールを社員が開いてしまったら、自社で運用しているセキュリティで果たして防げていたのかという疑問が持ち上がり、これを契機に本格的にセキュリティ対策の見直しに踏み切ることになったのだという。

### セキュリティと管理性を 共に向上させる

ITC が当時導入していたセキュリティシステム

のうち、標的型攻撃の最前線となるエンドポイントでの対策はシグネチャ型のアンチウイルスソフトウェアに依存していた。この仕組みの場合、パターンファイルは日々更新されるが未知の脅威には一瞬無防備になる可能性が残る。また、このソフトウェアはクライアントサーバによって管理されるため、オンプレミスのサーバが必須であり、アップデートや最新パッチの適用度に作業が発生し、管理負荷が大きかった。「最新パッチを適用するだけの作業時にもネットワーク負荷が増加し、社内のアクセス環境に大きな影響が出ていました」と五十嵐氏。

また、コロナ禍を受けて社員の9割がテレワーク中という時期だったため、社外で活動する社員のセキュリティ対策を整えることも急務となっていた。「社外から各社員のパソコンを管理するには、社内ネットワークに接続するか、VPN 接続をしないとならないため、コロナ禍によるテレワーク増加へどのように対応するかも議論されました」と振り返る五十嵐氏。現状の課題解決を含め、新たなセキュリティシステム選定は進んでいた。

「実はこの当時からセキュリティ管理に『HP Proactive Insight』を活用していました。HPには標的型攻撃に対して強さを持つ『HP Wolf Pro Security Service』があります。この両者はとても相性が良いので、最終選考の製品として残りました」と五十嵐氏は語る。

HP Wolf Pro Security Service は、ゼロデイ攻撃への防御も可能な AI 活用型の次世代アンチウイルス「HP Sure Sense Pro」と、標的型攻撃がよく使うマルウェアをマイクロ仮想マシン内に隔離し、保護された状態で監視が可能な「HP Sure Click Pro」からなる統合ソリューションだ。管理サーバは不要で、クライアントにはエージェントをインストールして利用する仕組みになる。

さらに HP Proactive Insight と組み合わせることで、社内の基幹システムにアクセスすることなく、デバイスの状態からセキュリティのモニタリングまでをひとつの画面で確認できるメ



株式会社 IT コミュニケーションズ  
プロフェッショナルサービス部  
テクニカルチーム  
シニアテクニカルディレクター  
五十嵐敏郎氏



クライアントサービス部  
プロデュースチーム  
シニアディレクター  
村山実氏

